

ご坊さんだより

2024年
7月

第43回 真宗公開講座

さる、6月8日(土)、農業屋「ミニ
ユニティ文化センター(松阪市)にて、

真宗公開講座が開催されました。「真宗公
開講座」は、地理的にも、北勢地区にある
桑名別院の講座に参加することが困難で
ある中勢、南勢、伊賀地区の寺院並びに門
徒さんから、同じ様な講座を開設してほし
いとの願いがあり、開催されることになっ



たのがはじまり
です。今年で43回
目を迎え、大事に
引き継がれてきた講座となります。

はじめの開講挨拶では、当講座の実
行委員長である桑名別院輪番、長澤隆
司より桑名別院の歴史や当講座のテー
マとなる「南無阿弥陀仏 人と生まれた
ことの意味をたずねていこう」につい
て説明がありました。

つづいて実行委
員を代表して、南勢
2組組長の藤井基

和氏より講師の紹介をいただきました。
津市を会場とした前回に引き続
き、松阪市においても同じ講師にお話
をいただきましたかった思い、そして前回
印象に残っている内容として「仏教と
は私たちが仏になるための教えであ
る」という言葉を紹介されました。

《 講義の内容は次頁 》

閉講の挨拶では実行委員を代表し
て南勢1組組長の酒井誠氏より

「ぜひ来年も
ご予定ください」と
願われました。



募金活動の結果(ご報告)

- 福島プロジェクト
29,961円
- 令和6年能登半島地震救援金
35,811円

ご協力ありがとうございました。



開催にあたりご尽力
を賜りました実行委員、
またスタッフの皆さま
には、厚く御礼を申し上
げます。
次回(来年)は津市の
三重県総合文化センタ
ーにて開催を予定して
います。

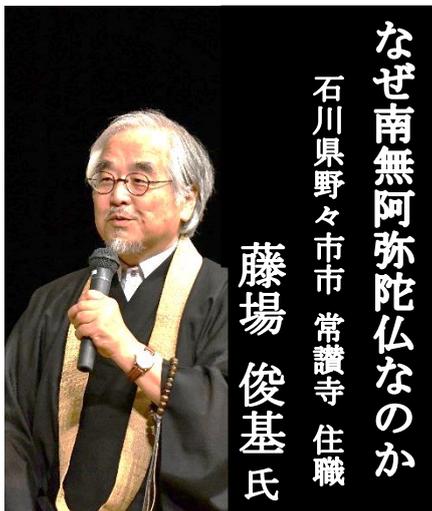


「第43回 真宗公開講座」
講演の内容ついて(一部編集)
掲載いたします。

なぜ南無阿弥陀仏なのか

石川県野々市市 常讀寺 住職

藤場 俊基氏



今年の1月1日16時10分、能登半島で最大震度7の震災がありました。私は金沢の右隣に自坊があります。新年を迎え、これからおせちでも食べて晩酌でもしようかと皆が過ごしていたところの大きな地震でした。

それから5か月が過ぎた今、被害の大きかった町は、とにかく静かです。人がおらず、片付ける音もない、崩れた建物物がそのままになった状態で、今はまだ道を直すところに人手が割かれています。能登教区、金沢教区には沢山の山谷派のお寺がありますが、無傷のお寺はたった1割ほどしかありません。

被災に遭われたご住職とお話をする機会がありました。

「能登ご住職のお話」

— 諸行無常という言葉は、仏教において大変大事な教えです。あらゆる出来事は常に変化しながら滅びていく。よく知っているつもりでも、家屋が倒壊し、やごと気付かされました。

それでも、おあさじは出来るんですよ。形ある物はいつか消えてしまうけれど、地震は南無阿弥陀仏を奪うことは出来なかった。—

その「南無阿弥陀仏」ですが、私は50年ほど前は苦手でした。元々住職になる気もなかったくらいです。学生時代は優等生として過ごし、銀行員として勤め始めました。当たり前に定年まで全うすると思っておりましたが、だんだんと仕事への意欲が消え、この先続けることに不安を感じノイローゼに近い状態になってしまいました。その時、今まで勉強した数学や英語などは全く役に立たなかったのです。生きていくのが嫌だけれど、死ぬのは周りに迷惑がかかる、いっそ消滅しないかななんて思っていた時に、初めて真宗の教えをちゃんと聴きました。そこから仕事を辞め、真宗学院へ行きました。ですが、どうしても念仏を口に出すのが嫌でした。

「できない」ということには2つのパターンがあるでしょう。どうしようもない場合と、やろうと思ったらできるけど、自分の「したくない」思いがあるたかも自分以外に理由や責任があるかのように口にする「できない」です。念仏は後者じゃないですかね。

念仏申すことにどうしても納得したい私は、聞法会に参加しました。当初の私は、「真宗の要は信心でしょう。口先だけの南無阿弥陀仏よりも、信心が大事なはずだ。その信心をはっきりさせたい。欲しくてたまらないんだ」と思っておりました。

信心とは、内面の問題なので他人のことはよくわからないものです。では、自分のことならわかるのか？というお話にも、結局他人のことがわからなければ、基準がよくわからないから何とも言えないでしょう。それなのに信心という言葉で指し示されている何かが欲しかった。それが無いの

に、念仏をしても意味がないと思っただ。ですが今は、そんなこと気にしなくてもいいんじゃないかと思うんです。気にしなくていいから、一緒にしましょうよと言えます。



ワケがわかってお念仏をする人は、この世の中にいるのでしょうか？

私は説明できますが、一番肝心なところは未だにわからない。何かを期待して競うように念仏するのは間違いだと思えますが、とはいえ大事なものはどんな思いの時でも念仏がでるといふことです。感謝しながらの念仏、悲しみの中の念仏、はたまた3歳の子供が真似して称える「まんまん」という念仏。どんな気持ちでも南無阿弥陀仏は称えられる。



意味があるかどうかではないけれど、わからないからどうしても信心として理由付けをしたくなってしまおう。そして確かめようがないものをわかったつもりになってしまおう。自分の中だけの世界で図ってしまう。意味の分からないものに意味づけしようとするのは単なる自己満足です。これは仏教といえるでしょうか？ 阿弥陀さまは、念仏を申す人に対して問題視してはいないはず。南無阿弥陀仏と言おうと思っただけなら出る。誰も止めてなどいないのに、逆らうのはいつも自分自身です。



南無阿弥陀仏は真宗門徒のしるしであり、お浄土へいける切符のようなものです。自分の周りに念仏をする人がいたら、その意味を分かっているかは関係なく、等しく尊敬をし合わなければなりません。それが仏教徒のあり方です。

私は夫婦で大喧嘩をしても、次の日の朝一緒にあさじに出れば、この人もお浄土へ行くんだなと思います。3歳の孫が「まんまん」とわけもわからず真似をしているのを見て、自分もこの子と一緒に浄土へ行けるんだと感じます。そして、そんな話を気楽にできたりする。これは、とても素敵な世界じゃないでしょうか。

念仏する人の前では警戒しなくていいと思います。どのような境遇に立ったとしても、私たちは常に真宗門徒のしるしである、「南無阿弥陀仏」を口に出す姿をみせて、ぜひ次の世代へ繋げていきたいと思います。

▼ 質疑 ▼

死ぬということがよくわかりません。どうしても当たり前明日のことを考えてしまいます。

▽ 応答 ▽

死んでみないことには誰もわかりません。ただ「いつか死ぬ」ということは事実です。明日が来るというのは保障のないことです。死ぬことに対していくら喧嘩をしたところで私たちは負けてしまうのですから、「南無阿弥陀仏」を称えた後のことは阿弥陀さまにお任せしましょう。逆らってしまうのは自分自身です。



桑名別院 列座研修旅行

さる5月30日、31日の2日間にかけて、桑名別院列座一同の研修旅行が行われました。

研修では他教区の別院寺院へ参拝することを通して、列座としての研鑽、また親睦を深めることを目的とし、毎年行っております。去年は札幌別院(北海道)へ参り、今年は長浜別院(滋賀県)へ参拝しました。

拝観後は長浜別院に隣接する商店街を散策し、海洋堂フィギュア博物館では物づくりにかける技師の熱意や繊細な気配りに触れ、昼食は成駒屋にて湖魚を使った郷土料理をいただきました。

その後、神戸に移動してポートタワーに登り、神戸港が見えるニューミュンヘンハーフェンブルクにて夕食をとりました。

翌日は竹田城跡と万博記念公園《太陽の塔》を見学し、歴史と芸術を体感する充実した2日間となりました。

江戸時代初期に建立された長浜別院大通寺は、彦根藩や井伊家と深い関係をもつ中で発展を遂げ、敵かな諸殿や庭園は今も保存されています。昨年に公開された映画「レジェンド&パトライ」の重要シーンの撮影にも使われましたので、ぜひ映画も見てみてくださいね。





7月の行事予定



法話(又は講演)のご案内

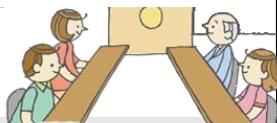


◇ 人生講座 会費 500円
7月7日(日) 7:00~8:00
講師 **訓覇 浩氏**
(菰野町 金蔵寺 住職)

※毎月第一日曜日開講。

8月4日(日)、講師 大橋 宏雄氏(鈴鹿市 浄願寺 住職)

◇ 同朋の会【正信偈のことばにふれる⑤】
7月5日(金) 13:00~15:00 会費 500円
講師 **長澤 隆司**
(桑名別院 輪番)



※毎月第一金曜日開講。

※ 次回 8月2日(金) 午後1時~3時

◇ 桑名別院法話のつどい
7月13日(土) 13:00~15:00
講師 **横山 大氏**
(菰野町 聞稱寺 住職)



◇ 桑名別院法話のつどい
7月28日(日) 13:00~15:00
講師 **高科 行氏**
(長島町 仁了寺 住職)



◇ 晨朝法話
毎朝 7:00からの勤行後
法話 別院列座(13日、28日の御命日は輪番)

◆ 暁天講座 7月14日(日)~18日(木)
【時間】6:20~7:30【会場】桑名別院 本堂・聞光殿(モニター)
【聴講料】1日:500円/5日分:2,000円【講師】以下のとおりです

14日(日)		「人と生まれて」 相馬 豊氏 (石川原 白山寺 真宗大谷派 遠徳寺 住職 本山 修練道場長)
15日(月)		「苦悩の中にひびく教え」 犬飼 祐三子氏 (愛知 桑名市 津区 真宗大谷派 正林寺 幼幼 同朋会館 教導 / 真宗会館 教導)
16日(火)		「好きこそものの上手なれ」 佐々木 昌信氏 (群馬 前橋市 真宗大谷派 覚徳寺 住職 元 プロ野球審判員)
17日(水)		「人と生まれた事に苦しむ人々と共に」 三橋 尚伸氏 (真宗大谷派 淨徳 日本産業力ワンセラー協会 認定ワンセラー)
18日(木)		「一人十色の生死観」 太田 宣承氏 (石川県 富田町 和賀町 真宗大谷派 浄徳寺 住職 社会福祉法人 光寿会 理事長)



法要(お勤め)のご案内



◇ 晨朝(おあさじ) 毎日 7:00~
◇ 祥月経 毎日 9:00~
毎月13、28日は13:00~、31日は前日に兼ねます。
加えて今月は、15日は13:00~、4、10、11、27日は前日に兼ねます

他の時間に祥月経をご希望の方、または年忌等、各種お参りをご希望の方は寺務所までお問い合わせください。

◇ お夕事 毎日 16:00~
◇ 御命日のお参り
先門首 13日 / 親鸞聖人 28日
前日:13:00より速夜
御命日:7:00より晨朝、9:00より日中



◆ 孟蘭盆会(お盆法要)
7月14日(日) 13:00~ 速夜
15日(月) 7:00~ 晨朝(暁天講座の勤行と兼ねます)
9:00~ 日中

ご先祖や亡き人を偲びながら、いま生きているこの私の“いのち”の事実と、その“いのち”にかけられた深い願いに 耳を傾け、自分自身の姿を見つめなおす大切な仏事です。

◇ 御歴代御正当
7月11日(木) 従如上人 第18代
25日(木) 宣如上人 第13代
前日:16:00より速夜
御命日:7:00より晨朝 兼日



◆ 奉仕活動のご案内
◎ 仏具のおみがき 場所:本堂
7月4日(木) 8:30~
汚れても大丈夫な服装でお願いします。(道具は別院にあります)

どなたでもお気軽に参加ください。

◎ 清掃奉仕(桑名別院婦人会・桑名組門徒会)
7月10日(水) 8:20~ 本堂前集合
堂内の清掃、境内の草刈り等。持ち物は自由です。



お知らせ



◆ びっくり夜店 (場所:くわな寺町通商店街)
7月19日(金)と20日(土)の夜(18:00~21:00)
商店街に夜店が並びます。そこで桑名別院では明かりをわずかに灯し、夜間でも堂内を拝観できるようにいたします。普段は見ることができない光景に出遇えるかもしれません。ぜひご参拝ください。



真宗大谷派 (東本願寺)
桑名別院 本統寺

〒511-0073 三重県桑名市北寺町4番地
寺務所 平日 9:00~17:00
TEL (0594)-22-0652 FAX (0594)-22-0681
メール kuwanabetsuin@gmail.com

